

空き家・空き室を社会に活かす

第2回

住宅セーフティネットフォーラム

～高齢者、低額所得者、被災者、障害者、子育てする者、大学生等の居住支援～

高齢化率が上昇、生活保護世帯数が増加、大学生の約半数が奨学金を利用等の情勢の中、まだ多くの宅建業者が大家から「高齢者等の入居を断るよう言われている」状況にあります。一方で、空き家の増加や高齢者宅には空き室が多い状況にあることから、これらを活かして、北区では3つの居住支援法人が、要配慮者（高齢者、障害者、低額所得者等）の賃貸住宅の入居相談、入居支援、入居後のフォローに取り組んでいます。この取り組みについて、空き家・空き室の持ち主や、要配慮者ご本人や支援する方々にお知らせするため、住宅セーフティネットフォーラムを開催します。



高齢者が地域で安心して暮らすために
～居住支援の普及に向けて～

あらいやすとも

講師：新井康友氏

佛教大学社会福祉学部准教授



日時 **12月11日** (日) 14:00～16:00 (開場13:30)

会場 **TAMARIBA** 北大路堀川西入ル南側バス停前

参加 定員20名(先着順)、参加無料、要申込

※申込時、当日等の新型コロナウイルス感染症対策、感染症発生状況等による開催の延期や中止に、ご理解とご協力をお願いします。

障害者の居住支援について

すすきりょう

講師：鈴木 良氏

同志社大学社会学部准教授



住宅セーフティネット体験談
大家さんや入居者さんからお聞きします

住宅セーフティネット制度
についてご説明します

北区内の居住支援関係者の連携を図ります
本フォーラムは、北区内の居住支援法人の(株)フラット・エージェンシーと(有)京都くらし支援センターの会場・広報等の協力を得てNPOくらしコープが主催します。また、北区内の行政・福祉関係者、高齢者等入居サポーターへ、オンラインにより多くの方にご参加いただけるようご案内します。

申込は**11月30日までに**

①お名前②住所③電話番号④メールアドレスをメール(又は電話かFAX)にて、お知らせください。【先着20名】

申込み先 **NPOくらしコープ** (特定非営利活動法人くらしコープ)

TEL075-205-5512 FAX075-451-6350
E-MAIL npo@k-coop.jp
<https://www.facebook.com/NPOKURASHICOOP>



令和4年度【つながる 北区 Next】北区民まちづくり提案支援事業として採択されています。

講師プロフィール

佛教大学社会福祉学部准教授。修士（社会学）。研究テーマは高齢者の孤立死（社会的孤立）の実態とその予防活動など。社会福祉士。介護福祉士。著書（分担執筆）に『北東アジアにおける高齢者の生活課題と社会的孤立』『介護保険「卒業」がもたらす悲劇』『社会的孤立死する高齢者たち』などがある。



鈴木 良
Suzuki Ryo

同志社大学社会学部社会福祉学科准教授。博士（コミュニティ福祉学）。研究分野は障害者の脱施設化と地域生活支援について。社会福祉士。単著に『脱施設化と個別化給付—カナダにおける知的障害福祉の変革過程』『知的障害者の地域移行と地域生活—自己と相互作用秩序の障害学』などがある。



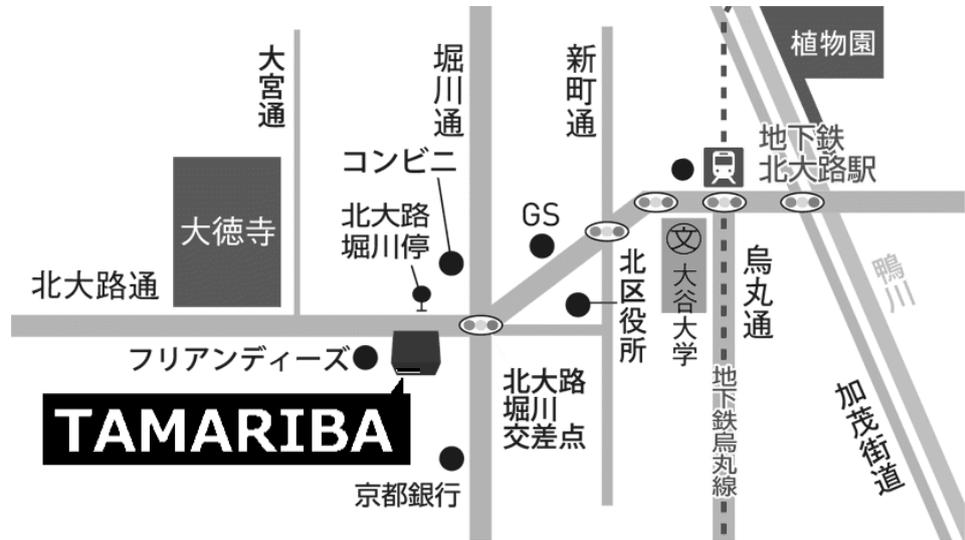
新井 康友
Arai Yasutomo

会場アクセス

TAMARIBA

北大路堀川西入ル南側バス停前

地下鉄北大路駅から西へ徒歩10分



新型コロナウイルス感染症拡大防止対策等に、ご理解・ご協力をお願いします。

- 申込時においては、定員を通常時の最大人数の半数以下とし、事前申込制により、お名前だけでなく連絡先等（住所、電話番号、メールアドレス）も確認させていただいております。
- 当日は、せきや熱などの風邪症状がある場合や体調がすぐれない場合は、ご来場を中止してください。

- 会場においては、入室時の体調確認・体温測定・手指の消毒・マスクの着用等や、室内の換気の実施にご協力をお願いします。
- 新型コロナウイルス感染症の拡大等の状況により、延期や中止等の開催の見直しを行う場合がありますので、予めご了承ください。

ボランティアスタッフ募集 NPOくらしコープでは、高齢者、低額所得者、障害者、大学生等の生活支援や居住支援に関心のある方々（大学生等）に、フォーラムの企画・運営にご参加いただき、知識、アイデア、スキル等のお力添えをお願いしたく、ボランティアスタッフを募集しています。

